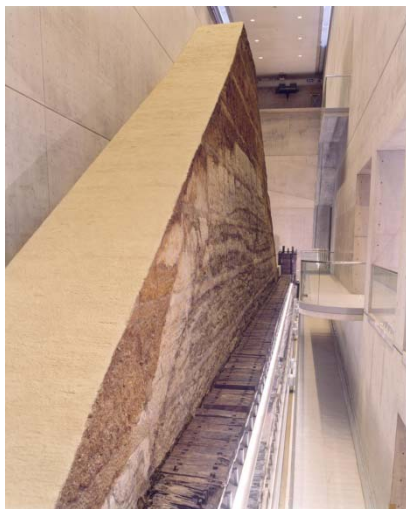


狭山池

(さやまいけ)



全景



堤体断面(狭山池博物館展示)

ため池の概要

□ため池の所在地

大阪府大阪狭山市

□ため池の特徴

狭山池は、古事記、日本書紀にも登場する日本最古のため池で、築造は1400年前の7世紀前半までさかのぼります。長い歴史の中で、行基(奈良時代)、重源(鎌倉時代)、片桐且元(安土桃山時代)など著名な人物が池の改修に関わっています。

現在も358haの農業用水源となっており、精緻な配水機構を備え、洪水調節の機能も併せもつ地域の大切な財産です。

堤や樋などため池の施設には、各時代の知恵と工夫が活かされており、その土木遺産は、隣接の狭山池博物館に展示されています。中でも改修前に切り取った実物の堤体は圧巻です。

風光明媚な池として知られ、枕草子にも「さ山の池」との記述があり、昭和21年には大阪府の史跡名勝第1号にも指定されています。

市民憩いの場であるこの池は、アマサギ、キンクロハジロなど珍しい野鳥を含め、50種類を超える多くの野鳥が訪れることから、平成の大改修では干潟が設けられ、水循環装置も設置されました。

池の周囲には千本を超える桜が植えられ、また市民の手で狭山池祭が毎年開催されています。

関連情報

大阪府ホームページ

<http://www.pref.osaka.jp/damusabo/dam/sayama.html>